

家庭数で配付



うみかぜ



第7号/令和5年12月22日

海浜打瀬の会 会長 ●●●●



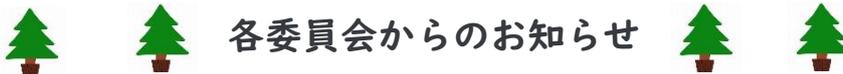
海浜打瀬の会
(総務アドレス)



会長あいさつ

皆さまいかがお過ごしでしょうか。一気に寒くなり、真冬の上着は出しましたが手袋はまだ早いかな
と思、ちょっと我慢して自転車に乗っています。

先月は“はばたけ夢の子Day”が開催されたので子どもの発表を見てきましたが、それとは別に、
学校評議員の活動として全学年の発表も見学しましたので、子どもたちの様子や感じたことを皆さまに
も共有したいと思います。まず、どの学年もきちんと発表していたのがとても印象的でした。時間内
で話したい事をまとめて自分の言葉で伝えるというプロセスは大人でも難しい部分があるのですが、それ
を多くの保護者が見ている前でやりきる、これはとても素晴らしい体験だと思いました。それから、発
表をパソコンで実施する児童もいて世の中の流れに合わせた取り組みができていて、それがとても良い
なと思いました。また、発表を他の児童が傍聴して質問や意見を求める場面もあったのですが、質問や
意見は発表を聞いて理解しないと出来ないことすし相手に伝わらないと意見や質問も出てこない
ので、発表側と傍聴側のどちらにも良い刺激になると思いました。最後にアリーナを見学し、温かく楽しい雰
囲気に包まれていて、皆元気で、自然と笑顔になりました。将来の自分の夢に向かって羽ばたいていく
ときに、この経験は生かされるだろうなと思、



各委員会からのお知らせ



育成委員会より

環境・非行対策部より

毎月第4土曜日に夜間パトロールを行っております。

今回は11月25日に夜間パトロールを行いました。次回は12月23日(土)20時~実施予定です。
参加ご希望の方は、事前に海浜打瀬の会にメールをお願いします。どうぞお気軽にご参加ください。(お
子様連れは不可となっております)

レクリエーション部より

2024年1月6日(土)に打瀬公民館にて、4年ぶりに『こどももちつき大会』を開催します。(時間
等の詳細は12月中旬に配付したチラシでご確認ください)皆様のご参加をお待ちしております。



児童安全委員会より

日頃よりセーフティウォッチャー活動にご協力いただき、ありがとうございます。
冬休み明けに登校時の「うみかぜ交通旗ふり活動」を予定しております。期間
は、1月9日(火)~15日(月)の5日間になります。子供たちが安全で安心し



で登下校できるよう、今後も見守りのご協力をよろしくお願いいたします。

今年も残りわずかになりました。冬休み中は人の往来も多くなります。お子様が安全に過ごせるように、ご家庭でもお声がけをよろしくお願いいたします。



生活文化委員会より

お忙しい中にもかかわらず、役員登録カード提出へのご協力いただき、ありがとうございました。

役員選出は2月2日(金)の懇談会終了後に実施予定です。当日は、ぜひご出席いただき、スムーズな役員選出ができるようご協力をお願いいたします。

なお、役員候補者の皆様には1月中旬頃にお手紙を配付予定ですのでご注意ください。



会計より

【転出される方へ】

会費の返金がある方は、返金依頼書をダウンロードして学校へご提出ください。

<https://drive.google.com/file/d/1yo4kw9ZQ-Lpt5Wgy2IXhWv7CeCvCULd2>

※ダウンロード・印刷ができない方は、担任の先生にご相談ください

URL : <https://sites.google.com/view/kaihin-utase-no-kai-2023>



《返金依頼書》



書記より

1月発行のうみかぜより、すぐーる配信へ変更いたします。すぐーる「海浜打瀬の会」の登録がお済みでないご家庭は、この機会にぜひご登録をお薦めいたします。また、うみかぜは海浜打瀬小学校のホームページにも掲載されております。

・未登録の方、機種変更をされた方は、配布したうみかぜに掲載のQRコードよりアクセスしてください。

ご不明な点は海浜打瀬の会(●●●●●●●●●●)までご連絡ください。※転出される際や卒業される際は、海浜打瀬の会のチャンネルの削除をお願いいたします。



読書ボランティアより

6年生の3クラスで、宮沢賢治の「注文の多い料理店」を読みました。国語の授業で宮沢賢治を学習したタイミングでの選書でした。詩人、童話作家としてたくさんの作品を残した作家ですが、この『注文の多い料理店』は比較的短くわかりやすいストーリーで、長く読み継がれてきました。

狩りに来て、山奥で迷子になった2人の紳士。だんだんお腹が空いてきた2人は「西洋料理店 山猫軒」と書かれた家を見つけます。中に入ってみると、指示が書かれた不思議な扉に次々出会います。彼らは食事を心待ちに指示に従いますが、物語は予想外の結末へと進んでいきます。

最初はツッコミを入れていた子供たちも、だんだん無言になり、絵本の世界に吸い込まれていくようでした。独特なオノマトペも印象的で、みんな自由にイメージをふくらませながら聞いてくれたのではないかと思います。不思議な世界観とじわじわくる不気味さは何度読んでも飽きず、大人になっても楽しめる作品だと思います。このような独特な言語のリズムや、見たことのない情景が思い浮かぶ絵本を読むことで、わくわくするような出会いを子供たちに届けられたらいいなと思っています。

注文の多い料理店

*表紙:ここでは非表示とさせていただきます。

